



10月10日は目の愛護デーです！

10月10日の10の字を横にすると、〇〇になって、人間の目とまゆげのようになりますね。そこでその日を「目の愛護デー」としたのです。

目を観察してみよう！

前から何かが飛んできたときパチッと目を守る。ときどきまばたきをして、目が乾燥しないようにする。

まぶた

まゆげ

涙腺

おでこから流れる汗が目に入るのを防ぐ。

ここで涙をつくりだしている。

涙点

鏡で見ると、上と下に小さな穴がある。役目を終えた涙は、この穴から鼻の方に流れていく。

目にごみやほこりが入るを防いでいる。

まつげ

鼻涙管

ひとみ

これが目と鼻をつないでいる涙の通り道。

目に入る光の量を調整している。明るいところでは、ひとみは小さくなって、暗いところでは、大きくなる。

10月の保健行事

1日(水) 3年生歯科保健指導 2・3校時 講師：歯科衛生士4名

3日(金) フッ化物洗口 *コップを忘れないでください！

10日(金) 目の愛護デー

17日(金) フッ化物洗口 専門委員会

○感染症罹患情報(9月)○ *志木二中で出席停止の措置をとった人数

・インフルエンザ2人 ・マイコプラズマ肺炎1人 ・溶連菌感染症2人
・新型コロナウイルス感染症8人(発熱なし2人) ・帯状疱疹1人

*新型コロナウイルス感染症に罹患した生徒がでています。喉痛・頭痛・だるい等の症状で熱がなくても陽性になっています。いつもと様子が違う時は、医療機関を受診してください。出席停止期間は症状がでた日を0日とし後5日間です。

「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉がありますが、今年はまだまだ暑い日もあり、天気が安定していません。これから涼しくなり、学習や運動に取り組むのに最適な季節になります。

しかし、朝夕の気温差が激しく、のどが痛い等風邪気味という人も増えてきています。感染症予防対策にうがい・手洗い・換気をしっかり行い、衣服の調節などで健康管理をお願いします。

志木第二中学校

保健室

R7. 10. 2

【令和7年度 視力検査結果】

*裸眼視力・矯正視力の左右悪い方の視力

学年	裸眼 A (1.0以上)	裸眼 B (0.7~0.9)	裸眼 C (0.3~0.6)	裸眼 D (0.2以下)	矯正 A (1.0以上)	矯正 B (0.7~0.9)	矯正 C (0.3~0.6)	矯正 D (0.2以下)	合計 (人)
1年男子	24	6	9	3	2	2	8	1	55
2年男子	18	3	11	7	1	3	14	1	58
3年男子	25	10	10	6	3	7	8	0	69
1年女子	24	7	11	7	2	8	11	3	73
2年女子	18	3	9	9	7	6	15	2	69
3年女子	12	4	11	11	6	10	18	2	74
合計 (%)	121 (30.4)	33 (8.3)	61 (15.3)	43 (10.8)	21 (5.3)	36 (9.0)	74 (18.6)	9 (2.3)	398 (100)

*裸眼視力 1.0 未満の割合は、年齢が高くなるにつれて増加傾向

* (文部科学省) 令和6年度学校保健統計調査結果(全国)の裸眼視力 1.0 未満: 小学生 36.8% 中学生 60.6% 高校生 71.1% と過去最大となっています。

3年生 思春期講座 9/30(火) 1・2校時

櫻井裕子助産師による思春期講座は中1・中2に引き続き3回目で、「妊娠・性感染症・性的同意」の内容をお話ししていただきました。生徒のアンケート結果を踏まえて、質問にも答えてくれました。軽快なトークと、ユーモアあふれる話に引き込まれ、楽しくも真剣に聞けてとてもわかりやすい講演でした。何人かの保護者にも講演会を参観していただきました。

《生徒感想》

- ・「妊娠」についての話で、最初は少し恥ずかしい気持ちもあったが、櫻井先生が優しく真剣に話してくださったので、自然と耳を傾けることができました。妊娠は「命が生まれる奇跡」だということを改めて実感しました。妊娠して命を育てるという大変さと尊さを強く感じました。また、「命を作る行為には、責任がある」と言うことが印象に残っています。軽い気持ちではいけないことだし、自分や相手を大切にすることが、何よりも大事だと感じました。これから先、自分の体や心を大切にしながら、相手を思いやる気持ちを持って、行動していきたいです。
- ・妊娠には様々な人が関わっています。パートナー・親・医療機関(助産師)・市役所等、支援をしてくれる人がいます。市に妊娠届を出すと経済的にも様々な支援が受けられることを初めて知りました。(母子健康手帳・妊産婦健康診査助成券等) 私もこのような妊娠に関する情報や制度は義務教育の中で教わるべきだと思います。知識があれば心に余裕を持つことができます。今日のお話を全て自分事として捉え、これからの行動選択に生かしていきたいです。